

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 8 号	
件 名	75歳以上の医療費負担の原則2割化に反対する意見書の提出について	
要 旨	<p>2019年から、後期高齢者医療（75歳以上）の医療費窓口負担を、現行の1割から2割にする論議が、経済財政諮問会議（内閣府）や財政制度等審議会（財務省）で進められ、社会保障審議会（厚生労働省）でも論議が開始されました。2割化となる負担増の計画に対して、老人クラブや医療関係団体から慎重な意見が相次いでいます。</p> <p>戦前、戦後を体験してきた高齢者は、日本経済の発展に寄与し、医療機関に安心してかけられる制度に支えられ、世界一の長寿国をつくり上げてきました。しかし、この間、公的年金の受給額が毎年減少するなどの影響もあり、ひとり暮らしの高齢者の約半数は生活保護基準を下回り、高齢世帯の27%が貧困状態に陥っています。このような厳しい実態に追い打ちをかける75歳以上の医療費自己負担の2割化は、高齢者の生活と健康に大きな影響を及ぼします。</p> <p>地区住民や老人クラブの意向を酌み、政府に対して、75歳以上の医療費の窓口負担を2割にしないことを求める意見書を提出していただきますよう陳情いたします。</p>	
付 託 年月日 委員会	令和元年6月24日	市民厚生常任委員会
受 理	令和元年6月11日	第145号